



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 三 協 フ ロ ン テ ア 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 妻 貴 嗣
(J A S D A Q ・ コ ー ド 9 6 3 9)

問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 端 山 秀 人
管 理 本 部 長

T E L 0 4 - 7 1 3 3 - 6 6 6 6 (代 表)

平成 19 年 3 月 期 中 間 業 績 予 想 と の 差 異 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 19 年 3 月 期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 19 日付け当社「平成 18 年 3 月 期 決 算 短 信 (非 連 結)」 に て 発 表 いた した 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 いた します。

平成 19 年 3 月 期 業 績 予 想 の 修 正 等

(1) 中 間 期 (平 成 18 年 4 月 1 日 ~ 平 成 18 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,517	559	284
今回修正予想 (B)	8,277	401	161
増減額 (B - A)	240	158	123
増減率 (%)	2.8	28.3	43.3

(2) 通 期 (平 成 18 年 4 月 1 日 ~ 平 成 19 年 3 月 31 日)

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	17,908	1,322	682
今回修正予想 (B)	17,500	1,200	580
増減額 (B - A)	408	122	102
増減率 (%)	2.3	9.2	15.0

(3) 修正理由

【中間期】

トランクルームビジネスにおきましては、前期に事業方針の変更をおこない、従来から推し進めてまいりました、屋外にユニットハウスを設置するトランクボックスからユニットハウスによる建物を建設し、その中を間仕切って作られているトランクルーム（屋内型）への出店に変更を行った事と屋外型トランクボックスの閉鎖を行いました。

ユニットハウスの販売につきましても、前期から一部事業方針の変更により展示販売場（SPACE NAVI）は、従来の中古ユニットハウスを拡販する営業から、事務所用ユニットハウス（Q U O = 商品名）を展示販売する展示場として、本建設の受注活動にはいりましたが、第1四半期において受注活動に苦戦をしたことにより上期の売上高減少の影響を受けました。

また、展示販売場の不採算店舗の見直しを行い利益体質強化に努めました。

上記の事業方針の変更に伴い設備及び閉鎖に伴う諸経費が増加したことと法人税等調整額が前回予想より増加する見込みとなり経常利益及び中間純利益が予想を大きく下回り、中間業績予想を修正するものです。

【通期】

通期におきましては、好調な企業収益を背景とした、設備投資の増勢基調は今後も持続されると予測されます。当社の取引先である建設業界におきましても、大手ゼネコンを中心に建設受注は高水準で推移することにより、建設現場向けレンタル受注に注力いたします。

トランクルームビジネス（U - SPACE）、展示販売場（SPACE - NAVI）ともに不採算店舗の整理等の見直しを終え設備及び閉鎖に伴う諸経費が止まることと事業方針変更による売上向上効果が期待できることにより利益面においても回復いたしますが、上期の影響もあり業績予想の修正をいたします。

(4) ご参考：前期の実績（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（17/4～17/9）	8,812	764	284
通期（17/4～18/3）	17,473	1,145	484

以 上